

南海トラフ巨大地震が迫る！ 愛知県尾張地方ではどのような 地盤災害が発生するのか？

2015年10月30日 **金** 13:30-17:30

名古屋大学 環境総合館1階 **レクチャーホール**

入場無料

定員100名

主催：地盤工学会中部支部 「南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会」
共催：中部地質調査業協会

第一部 13:40～15:10 特別講演会

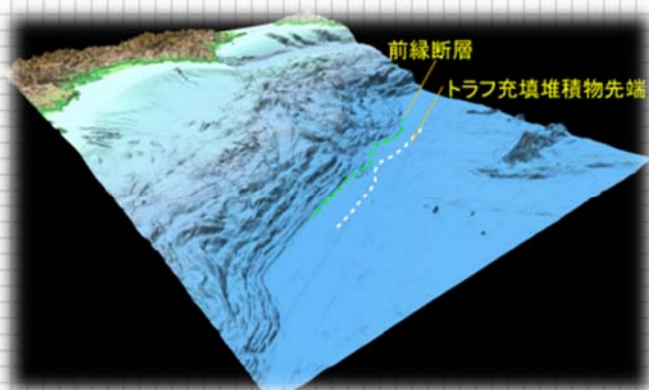
南海トラフ巨大地震の実体 ～観測とシミュレーションから迫る～



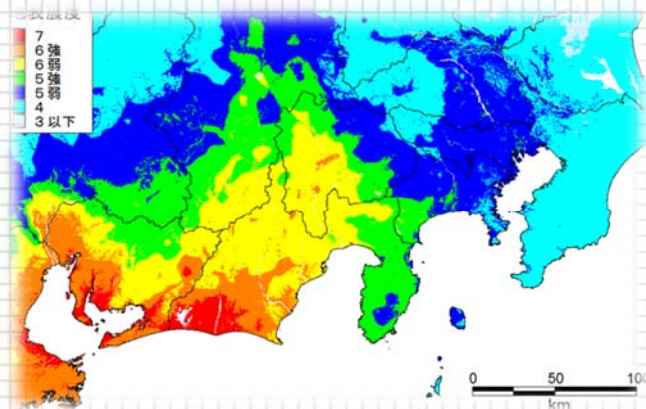
講師：金田義行先生（名古屋大学減災連携研究センター教授）

第二部 15:30～17:30

愛知県（尾張）の地域特性と危惧される地盤災害



金田先生講演資料より
拡大震源浅部として：トラフ充填堆積物先端及び前縁断層マップ



内閣府：南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）
強震断層モデル編 一強震断層モデルと震度分布について一

事前申し込みの必要はありません。直接、会場にお越しください。

お問い合わせ

地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号ポーラビル8F

電話：052-222-3747 FAX：052-222-3773 E-mail：jibancho@jeans.ocn.ne.jp

「南海トラフ巨大地震が迫る！愛知県尾張地方ではどのような地盤災害が発生するのか？」

東日本大震災の甚大な地震被害を目の当たりにし、迫りくる南海トラフ巨大地震への備えが求められています。また、日本は変化に富んだ気候や活発な地殻変動、火山活動によって、多種多様な地質・地形を有しており、その地形・地質によって危惧される地盤災害の様相は大きく異なります。本シンポジウムでは、最初に、特別講演として金田義行先生(名古屋大学減災連携研究センター)を招き、南海トラフ巨大地震の実態について、わかりやすく解説して頂きます。その後、地域および地域住民の地震防災に役立ててもらうことを目的に、愛知県の特に尾張地方が有する特徴的な地域特性を分析し、巨大地震発生時に県内で危惧される地盤災害について整理・説明します。

主催：地盤工学会中部支部 「南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会」

共催：中部地質調査業協会

日時：平成27年10月30日(金) 13:30～17:30

場所：名古屋大学 環境総合館1階 レクチャーホール
〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

参加費：無料

定員：約100名(事前申し込みの必要はありません。直接、会場にお越しください)

G-CPDポイント：3.5

※地盤工学会 G-CPD ポイント付与ご希望の方は、御名前と個人会員番号もしくは G-CPD ポイントメンバー番号を受付にお申し付けください。

※地盤工学会以外の建設系 CPD 協議会加盟の団体所属の方で、受講証明書が必要な場合は、http://www.cpd-ccesa.org/unit_assent.php よりご所属団体申請書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当日ご持参ください。

<プログラム>

- 13:30 開会
- 13:30～13:40 開会のあいさつ
- 13:40～15:10 特別講演会
演題：南海トラフ巨大地震の実態
～観測とシミュレーションから迫る～
講師：金田 義行 先生(名古屋大学減災連携研究センター教授)
- 15:10～15:30 休憩
- 15:30～17:30 愛知県尾張地方の地域特性と危惧される地盤災害
- 17:30 閉会



